

2026年3月6日
SCSK株式会社

SCSK、AWS の Data and Analytics コンピテンシー認定を取得 ～「勘と経験」から「根拠ある戦略」へ。確かな分析技術で顧客の成長を強力にサポート～

SCSK株式会社(本社:東京都江東区、代表取締役 執行役員 社長:當麻 隆昭、以下 SCSK)は、2026年3月5日にアマゾン ウェブ サービス(以下 AWS)のパートナーグローバルコミュニティである「AWS パートナーネットワーク」の「Data and Analytics コンピテンシー」認定を取得しました。本認定は、国内6社目の取得となります。

「AWS Data and Analytics コンピテンシー」は、あらゆる規模のデータの収集、保存、分析、運営管理の領域、高度な専門性知識と豊富な実績を持つ企業を認定するものです。SCSKは、クラウドネイティブ分野での新たなデータ分析、利活用のサービス展開や、高い専門性を備えたサービス提供体制が評価され、今回の認定取得に至りました。

■評価ポイント

1)AWS との強力な連携による充実のサービス提供体制

SCSKは、AWSと連携し、2023年4月より「AWS IT トランスフォーメーションパッケージ for MCP SCSK版 クラウドリフト&シフト対応」^{※1}を国内で初めてリリースしました。翌年2024年5月には、「AWS IT トランスフォーメーションパッケージ for MCP SCSK版クラウドネイティブ対応」^{※2}を追加リリースし、提供範囲を拡大しています。

「IT トランスフォーメーションパッケージ for MCP SCSK版」では、データの「収集」「格納」「ガバナンス」「可視化・分析」といったデータライフサイクル全体に対し、AWS のソリューションと当社サービスを組み合わせ、お客様のプロジェクト推進や内製化支援を通じてサポートすることが可能です。特に当社は、データ収集後の可視化、分析の分野に豊富な実績を有しており、今回のコンピテンシー取得により、モダナイゼーションを進めるお客様を支援できる能力がAWSに正式に認められました。

※1 <https://www.scsk.jp/news/2023/pdf/20230420.pdf>

※2 <https://www.scsk.jp/news/2024/pdf/20240508.pdf>

2)プロジェクト管理標準とAWS 利用ガイドラインの確立

SCSKは全社で開発標準、「SmartEpisode Plus(SE+)」を展開しています。AWSを利用してシステムを開発・構築する際には、AWSのベストプラクティスである「AWS Well-Architected フレームワーク」を活用し、成果物の品質担保を図ります。また、AWSを正確かつ迅速に導入するためのメソッドとして「クラウドリファレンスキット for AWS」を無償提供しており、データ分析におけるAWSサービスの選定基準や、データの取り扱い時に必要となる考慮事項をガイドラインとして体系化しています。これらのガイドラインを活用することで、データ分析作業の品質を安定的に維持することができます。

3)AWS の最先端サービスに精通した人材の育成

SCSKでは、2025年8月にAWS認定資格の保有数が3,000を突破しました^{※3,4}。さらに、2025年6月には、「AWSパートナーネットワーク」表彰制度において、Japan AWS Ambassadorsを含む多数の表彰を受ける^{※5}など、先進技術者の育成に積極的に努めています。データ分析、利活用分野における人材育成にも特に注力しており、AWSと連携して教育プログラムを企画・展開しています。これらの取り組みを通じ、データ分析・利活用を中心としたAWSの注力サービスを提供できる専門人材の育成・強化を全社的に進めています。

※3 <https://www.scsk.jp/news/2025/pdf/20250820i.pdf>

※4 <https://www.scsk.jp/news/2025/pdf/20251222i.pdf>

※5 <https://www.scsk.jp/news/2025/pdf/20250626i.pdf>

本件に関するお問い合わせ先

SCSK株式会社

ITインフラサービス事業グループ

クラウドサービス事業本部 クラウドサービス第二部

クラウドサービス事業本部 AI&クラウドソリューション部

E-mail: cdbc-all@scsk.jp

※ 掲載されている製品名、会社名、サービス名はすべて各社の商標または登録商標です。